



## 本日のトピックス

### 事業の持続性を見据えた要員の安定確保に向けて!!

本部は、グループ各社の厳しい経営状況を認識しつつも、事業の持続性を見据えた労働力の維持・確保に向け、要員課題を中心とした団体交渉を行った。

#### 本部の主張

##### 新規採用者数

郵便事業をはじめ各職場においては、時間外労働の上限規制が施行され、時間外労働は減少傾向にあるものの、まだまだ超過勤務に頼らざるを得ない状況にあり、長時間労働の是正や、時間外労働の縮減に向け、人手不足が続く中で要員確保をはかるには外部からの採用が重要である。また、労働力の年齢構成等への配慮も必要であることから、新規採用者数の最大化をはかるよう求める。

##### 正社員登用者数

職場で実績のある契約社員等の希望が充足され、その能力を発揮することは、業務運行上も有用であり、正社員への登用実現可能性が高まることで人材流出を防ぐことは、事業の安定的な運営に必要であることから、正社員登用者数の拡大をはかるよう求める。

##### 一般職から地域基幹職等へのコース転換

地域基幹職等は役職登用が前提であることを踏まえ、将来を見据えて職場で実績のある社員のコース転換は有用であり、役職者数に応じた地域基幹職の配置とするためにも、一般職から地域基幹職等へのコース転換者数の拡大をはかるよう求める。

##### 人材の確保・育成について

日々の対話を含めた育成とあわせて登用等への応募の動機づけは、社員の意識向上・育成に繋がることや、選考で不合格となった社員に対するフォローや助言は、職場への慰留とあわせてモチベーションの向上となり、再度の応募への意識づけにも繋がることから、正社員登用およびコース転換に向けて日常的な動機づけやフォローを行うことを求める。

会社は、グループ各社の経営状況等を踏まえ、例年になく慎重かつ厳しい姿勢を見せており、交渉の行方は全く予断を許さない状況となっている。

本部は、引き続き要員課題の前進に向け、交渉を積み上げていく。

春闘情報はJP労組HP組合員専用サイトからご確認ください。⇒  
メールマガジンも登録しよう!



(担当: 坂根)